

リハビリテーションとは

リハビリテーションとは、「re;再び」「habilitation;能力を獲得する」という意味があり、ケガや障害を持った患者様に対して、理学療法・作業療法・言語聴覚療法を用いて、医師・看護師・ソーシャルワーカー等と協力しながら、身体機能・能力の回復を図り、社会復帰できるよう支援することを指します。その対象は、疾病や手術により入院した患者様のみならず、疾病の発症や悪化の予防を目的とした患者様も含まれます。また、高齢社会の日本においては、患者様の疾病も多様化しており、従前よりリハビリテーションの対象とされていた整形外科疾患や脳血管疾患にとどまらず、呼吸器疾患や循環器疾患、糖尿病などの代謝疾患、難治性疾患及び悪性新生物(癌)など多岐にわたる疾患も対象となります。

当院リハビリテーション科は、筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターの機能を最大限に生かし、多様な疾患に対して各診療科の専門医による高度で良質な医療の下、発症又は術後早期より科学的根拠に基づいた治療と、患者様のQOLを尊重した最良なリハビリテーションを実践しています。また、当科では、スポーツ整形外科や循環器・呼吸器疾患などの内部疾患、集中治療室のリハビリテーション領域において、専門理学療法士や博士、各認定療法士取得者が中心となり診療及び研究に取り組んでいます。機能回復や身体能力向上はもちろんのこと、医師・看護師・ソーシャルワーカーなどと協力しながら、患者様ひとりひとりに適した対応により早期の社会復帰を目指しています。また、退院後も外来

リハビリテーションにてフォローアップを行っています。

さらに、回復期病院と積極的に連携するなど地域医療体制の確立や、幅広い疾病に対して総合的・全人的なリハビリテーションが施せるよう努めています。



リハビリテーションには下記に示す 3 つの療法を用いています。

・理学療法

一般に理学療法とは、運動療法や物理療法、装具療法を用いて、身体機能及び能力の回復を図り、個々の回復能力に応じた動作方法の指導や環境整備を行うことにより、早期に生活及び社会復帰できるよう援助するものです。

当院における理学療法の特色として、整形外科スポーツ外来と連携し、学生や一般愛好家からプロ選手まで幅広い層の患者様を対象にアスレティックリハビリテーションを行なっています。また、糖尿病・生活習慣病療養指導委員会の協力のもと、糖尿病や心筋梗塞などの代謝系・循環器系疾患の患者様を中心に二次予防を目指した運動療法を、各専門医と連携して実施しています。



・作業療法

作業療法とは身体や精神に障害のある方、またそれが予想される方に対し、再び充実した生活が送れるように機能回復を促すために仕事・遊びなど人間に関わる全ての諸活動を用いて訓練・援助を行うものです。身体機能及び能力の回復を図り、個々の回復能力に応じた動作方法の指導や環境整備を行い、患者様の個別性に合わせた支援を行っていきます。

・言語聴覚療法

言語聴覚療法では、コミュニケーション障害、高次脳機能障害、摂食嚥下障害を対象にして、日常生活における問題点の改善を行っていきます。

コミュニケーション障害とは、何らかの理由により他者との意思疎通が困難なことで、例として構音障害、発声障害、失語



症、聴覚障害などがあります。介入としては、残存機能の回復や、コミュニケーションツールの調整を行います。

高次脳障害とは、言語、認知、行為、記憶などの高度な脳の機能が障害されている状態です。脳血管障害や頭部外傷等で脳の損傷部位などにより様々な症状が生じます。また、個人の性格、生活スタイルによって障害像が異なるため、個別性に配慮した目標を設定した介入が重要です。

嚥下障害とは、飲み込みに障害が生じることで、脳血管障害や腫瘍などが原因となるほか、加齢によっても障害が発現します。症状が進行すると脱水や栄養不足、誤嚥性肺炎を引き起こす可能性があるため、早期に適切な対応が必要となります。介入としては、食事形態や摂食方法の調整、嚥下機能改善のための段階的な訓練を行います。

鍼灸・スポーツマッサージ治療について

- 内容 マッサージ・鍼・トレーニング指導
- 料金 学生：2052円 一般：2570円（税込）

※ 保険適応外の自己負担

※ 鍼治療は別途 500円（税込）

詳しくは、主治医またはリハビリテーションスタッフまでご相談下さい。